

Web版

目次

KURE KOUSSEN

呉高専だより



第50回全国高専大会優勝！
ソフトテニス競技女子個人戦ダブルス（矢野 明日香・矢野 遥香）

呉高専と保護者をつなぐ情報誌



● 呉高専日誌

教育・研究

4月	阿賀の魅力が満載のWAGA MAP(わが マップ)が完成しました！ 交通安全教室 入船山記念館に行ってきました！ 環境都市工学科実験実習	1
5月	専攻科推薦入試 「プロダクトデザイン演習」グラフィティに挑戦！初日 石段の家プロジェクト活動報告 「九連環～解法・製作・進化～」基礎編1	2
6月	環境都市工学科1年生実験実習（測量）の様子 環境都市工学科3学年LHRの様子 2年生による学科交流企画 英語スピーチ・プレゼン指導の様子 1年生「技術者入門」 コマ講義 「プロダクトデザイン演習」壁画完成！ 高齢者の夢を、高専生が叶えるモノづくり	3
7月	「呉高専コネクトプロジェクト」EVERY THING HACK DAY開催！ 電気情報工学科1年 LHRでレクリエーションをしました 「防災グッズの開発と製作」で被災者の方にヒアリング（その1） 第一回目のサイエンスイベントを行いました 全国高等学校ビブリオバトル2015広島県大会でチャンプ本に！ 電気情報工学科2年 電気情報工学実験	5
8月	Science Jam キックオフキャンプに参加してきました 横路中学校でワークショップを行いました	6

クラブ活動

4月	硬式野球部（高野連チーム）春季県大会の結果 呉地区高校総体ソフトテニス競技 団体戦	7
5月	第20期呉学生将棋名人戦への将棋同好会参加 呉みなと祭、フラワーフェスティバルを終えて	7
6月	しまなみ海道サイクリング&キャンプ2015 ラグビー部高校総体戦績報告 Cブロック 準優勝 インターアクトクラブ車いす清掃活動 高校最後の県総体 弓道個人戦	8
7月	水泳部 中国地区高専体育大会に出場 第51回中国地区高専体育大会陸上競技 バレー部 中国地区高専体育大会に出場しました サッカー部中国地区高専大会準優勝 女子バスケットボール部、ラスト11秒で逆転勝利！ 卓球部、中国地区高専体育大会に参加 中国地区高専体育大会ソフトテニス競技 なでしこ大活躍！ バドミントン部 中国地区高専体育大会報告 テニス部 全国高専体育大会 初出場！ 第50回全国高等専門学校体育大会剣道競技に出場決定 硬式野球部（高野連チーム）選手権広島大会一回戦のご報告	9
8月	呉地区合同演劇ワークショップに参加しました	11

イベント

4月	平成27年度入学式 寮生活第1日目始まる 1学年遠足（灰が峰登山） 今年もイングリッシュラウンジが始まりました！	12
5月	平成27年度第1回ブックハンティング	13
6月	呉活性化プロジェクトに参加 区ロボコン、ねこかぶり区 保護者懇談会1 呉高専創立50周年記念植樹式 同窓会より本校へ桜の贈呈 北米の高校生が本校に短期留学しました 留学生との交流会を行いました	13
7月	阿賀小学校3年生が校外学習で見学に来られました	14
8月	平成27年度 第1回学校見学会	14

その他

5月	呉南特別支援学校の校章デザインと開校式 呉市議会議員が視察のため来校されました	15
6月	楠田特命教授平成27年度全国発明表彰・発明奨励功績賞受賞 機械工学科5年生 田中真実さん 簿記検定1級合格 最優秀者表彰	15
7月	呉東ロータリークラブから本校野球部への支援物品をいただきました 平成27年度安全標語受賞者の表彰式を行いました 呉東ロータリークラブから寄付金をいただきました	16
8月	実習工場技能講習会（その1）	16

● クラブ活動・各種大会報告

クラブ活動・各種大会報告	17
各種大会結果	
テニス部 第50回全国高等専門学校体育大会	
バドミントン部 高専大会全国地区大会報告	
第50回全国高専体育大会 ソフトテニス競技女子個人戦ダブルスにて優勝しました！！	
準優勝 第24回西日本地区高等専門学校アーチエリー競技会にて	

4月

平成27年4月15日呉高専日誌より

阿賀の魅力が満載のWAGA MAP (わが マップ) が完成しました！

— まちづくり若者提案事業 AGAin —

環境都市工学科5年 山下 太郎

呉高専の学生が中心となって活動しているまちづくりグループ「AGAin (アゲイン)」が平成26年度に企画・提案した、阿賀の魅力が満載のマップ「WAGAMAP(わがマップ)」が完成しました(中国新聞3月14日付朝刊「呉・東広島版」でも紹介されました)。

「WAGAMAP」は、“たくさんの情報が載っているわがままな阿賀のマップ”ということで、メンバーが命名しました。阿賀の住民はもとより、阿賀を訪れる人に阿賀の魅力を伝えることを目的に作成しました。お店や病院等の店舗、そして阿賀のちょっとした小ネタを掲載しました。企画から情報

収集、各お店への問い合わせなど、かなり大変な作業でしたが、他には例のないとても魅力的なマップになりました。

一番こだわらなかったのは、「手書き」感です。親しみやすいマップにするために、道路やお店の様子など、写真ではなく手書き風に仕上げることができました。

阿賀地区の全世帯に配布され、阿賀市民センター等にも置かれます。「WAGAMAP」をきっかけに、少しでも阿賀を好きになっていただければ幸いです。

私たち「AGAin」は、今年度も阿賀を盛り上げるための様々な活動を計画中です！



平成27年4月15日呉高専日誌より

交通安全教室

学生主事補 田中 慎一



4月15日(水)の放課後に自転車通学を希望する新1年生、車両通学を希望する学生を対象に広警察署 交通課の宇佐美さんを講師にお招きして交通安全教室を行いました。この講義では講師の方が、“シートベルト着用の重要性”をテーマに、資料やDVDなどを使用して学生にもわかりやすく交通マナーや交通法規についてとても貴重な話をしていただきました。

講義中に視聴したDVDで、実際に事故に遭われて大切な家族を失った遺族の話聞いた学生はシートベルト着用の重要性や交

通事故によってこれ以上悲しむ人がでないよう安全運転に努める大切さをしっかり学んでいました。

今回の交通安全教室で勉強したことを自分たちの運転に反映させて、充実した学生生活を送ってほしいと思います。

平成27年4月18日呉高専日誌より

入船山記念館に行ってきました！

建築学分野 光井 周平



今年度から新たに始まった「インキュベーション・ワーク」の様子が先日新聞にも掲載されましたが、学生たちには従来の“教えてもらう”から“自ら進んで学ぶ”へと意識を変えてもらいたいと思っています。そのために教員としていろいろな場をつくりたいと思っている昨今ですが、その一環として、4月18日(土)に希望者を募って呉市の入船山記念館の見学会を開催しました。

授業でもなく、しかも休日であるにも関わらず建築学科の学生13名が参加してくれて、教員、卒業生なども合わせて総勢

18名でにぎやかに行ってきました。

呉駅に集合して、途中寄り道をしながら入船山へ。旧呉鎮守府司令長官官舎である入船山記念館は国の重要文化財にも指定されています。呉で学んでも意外と知らない学生が多いのですがとても魅力的な建物です。

教員が自分の好きなポイントを解説しながらじっくり見学しました。マニアックな話に触発されてか、記念館でも隣の史料館でも学生たちがいろいろなところに注目して予想以上に長時間の見学になりました。次回は江田島に行こうと思っています。

平成27年4月28日呉高専日誌より

環境都市工学科実験実習

環境都市工学分野 重松 尚久

4月28日(火)、今日は、環境都市工学科3年の実験実習を行いました。

この実習は、土の試料を用いて試験により実際の強度や変形を求め、土構造物の設計に用いる土の強度定数や物理特性を求めるところを目的としています。今回は私が担当している粒度試験について報告します。

土を構成する土粒子の粒径の分布状態を粒度といいます。先週は粒径が0.075mm未満の細粒分の粒子を測定する沈降分析を行

いました。今週は0.075mm以上の粗粒の粒径の測定するための準備を行います。

まず、0.075mmのふるい上で細粒分を洗い流します。その後、ふるいに残った粗粒分の粒子を回収し、炉乾燥で乾燥させ、ふるい分析を行います。

試験も時間がかかりますが、高専に入学から一番難しいレポートになります。頑張ってまとめてくれるものと期待します。



平成27年5月15日呉高専日誌より

専攻科推薦入試

専攻科長 岩本 英久

専攻科推薦入試が実施されました。視聴覚教室に集まった受験生は8名です。緊張した雰囲気の中、面接試験に臨みます。

今年度から出願資格にTOEICの得点は300点以上であることが盛り込まれました。次回（平成29年度入学生）の推薦入試出願資格は400点以上となります。グローバル環境の中では、国際的に通用する英語力を持った技術者が求められています。これらの出願資格は最低条件です。

これから専攻科を受験しようと考えている学生は、しっかりとTOEIC対策をお願い

します。

また、平成28年度から、現在2専攻（機械電気工学専攻・建設工学専攻）がプロジェクトデザイン工学専攻（仮称）の1専攻に改組されます。

今回は2専攻での募集となっていますが、このたびの入試で合格した学生は、改組される専攻に入学することになります。これから専攻科は新しくなります。しっかり研究して、世界で活躍できる技術者になりましょう。



平成27年5月21日呉高専日誌より

インキュベーションワーク「プロダクトデザイン演習」グラフィティに挑戦！初日

建築学分野 間瀬 実郎・下倉 玲子



合科授業のインキュベーションワークで私たち（間瀬・下倉）は、「プロダクトデザイン演習」と題し、学生に1年間でプロダクトを1つ作成してもらおう授業を行っています。そのウォーミングアップとして、壁に絵を描くプロジェクトを5月21日から4週間ほどかけて行うことにしました。

会場は、延崎保育園の壁です。

初日は、壁にプロジェクターで原画を投影し、輪郭線を描きました。

キャラクターデザインは漫画家の林橋子氏です。

これから、順次その進行具合をアップしていきますので、お楽しみに！



平成27年5月21日呉高専日誌より

インキュベーションワーク 石段の家プロジェクト活動報告

建築学分野 光井 周平、機械工学分野 上寺 哲也、インキュベーション・デザイン室プログラム・ディレクター 高路地 修平

今年度から新たに始まったインキュベーションワーク。先週からはよいよ各テーマに分かれた活動がスタートしました。その中の1つが「呉の未来を創る【場づくり・コトづくり・ヒトづくり】「石段の家2号館」リノベーションプロジェクト（以下、石段の家PJ）」です。

呉市両城の空き家となっている木造住宅を題材に、学科も学年も異なる28名の学生たちが「呉のまちを元気にする」取り組みに挑戦します。

先週は学生メンバーが初めて集まって互いに自己紹介。今週は、石段の家2号館を管理しておられるNPO法人くれ街復活ビジョンのメンバーをお招きして「他己紹介

ワーク」を行いました。このワークは、初めてお会いするNPOメンバーの方に学生たちからインタビューをしてさまざまなことを聞き取り、教えてもらった情報をもとにその方を学生が紹介するというものです。

「呉のまちを元気にしたい！」という思いを持った学生、NPOメンバーが互いの人となりやプロジェクトに対する想いを知ることができたのではないかと思います。今後の活動の様子は随時紹介する予定です。どうぞご期待ください！

関連記事：平成27年5月31日（日）中国新聞掲載記事「空き家再生学生目録で」



平成27年5月21日呉高専日誌より

インキュベーションワーク「九連環～解法・製作・進化～」基礎編 1 機械工学分野 野村 高広



中国の古典的な知恵の輪「九連環」を題材としたインキュベーションワークを、学科学年混合の13名の学生と共にスタートしました。九連環とは、九つのリング（円環）に収まった棒（細長い環）を取り除くメカニカルパズルです。その解法整理、製作方法、進化形態を工学の視点で探究します。機械工学科棟1階の流体実験室で取組んでいます。

初回、基礎編として、環数を減らした「五連環」を自作しました。アイスの棒にドリルで穴を空け、針金をペンチ等で曲げ

加工して簡易製作しました。

製作後は、各自の五連環を手に取り、解法を探りました。この知恵の輪の最大の特徴である、「最初の一歩」が解法の味噌であることを全員確認することができました。また、「最初の一歩」にトラップを仕掛けるために奇数環タイプが一般的に製作されているなど、工学的な考察も楽しみました。

平成27年6月9日呉高専日誌より

環境都市工学科1年生実験実習（測量）の様子 環境都市工学分野 山岡 俊一



1年生が入学して約2ヶ月が過ぎました。中間試験が終わり、高専生活に慣れてきた頃ではないでしょうか。

さて、今日は環境都市工学科1年生の実験実習（測量）の様子を紹介します。

1年生では数少ない専門授業です。最初は巻尺だけを使用した簡単な測量から学びます。校内の平面図を作成するために、班のメンバーで協力しあいながら様々な距離を測定し、データを野帳に記録します。

4月に比べると、作業服姿が様になっ

きましたね。

外での作業が終わると、測定結果を基に教室で図面を作成します。三角定規や三角スケール、コンパス、関数電卓等を使用し、丁寧に描きます。

これから暑くなってきましたが、元気に頑張りましょう！



平成27年6月22日呉高専日誌より

環境都市工学科3学年LHRの様子

環境都市工学科3年担任 堀口 至

高専の低学年(1~3年)では、水曜の6時間目にLHR(ロングホームルーム)の時間があります。低学年では、この時間を利用して、体育祭や球技大会などのメンバー決定、高専祭の準備などを行います。

環境3年では、LHRで空き時間ができると、自己プレゼンを行うことにしています。自己プレゼンでは、「今、夢中になっていること」や「今、心配なこと」などを5~10分程度で話してもらいます。プレゼン終了後には、その内容についてのコメントをクラス全員が書き、発表者にコメントを渡し

ます。

自己プレゼンの目的は、クラスメートの知らない一面を知る、ということの他に、人前で話すことやコメントを書くためにしっかり話を聞くことの難しさを知る、という目的もあります。

自分の話した内容に対して、具体的な反応があることは意外に嬉しいものです。これから人前で話す機会がたくさんあると思いますが、その時にこのLHRの経験が少しでも活けると良いですね。

次のプレゼンも楽しみにしています！



平成27年6月24日呉高専日誌より

2年生による学科交流企画

2年学年主任 外村 彰



さる6月24日(水)の2学年によるLHRは、5、6時限を使ってのバレーボール大会でした。普段あまり接する機会の多くないクラスの親睦を深めるのが今回の企画の目的です。

学科混合チームごとに集合(170名で19チーム)し、一試合10分で5コー

ト(第一・第二体育館)のトーナメント戦を行ないました。

その結果5チームが3勝し、優勝チームとして賞品を贈呈されたのでした。



平成27年6月25日呉高専日誌より

インキュベーションワーク 英語スピーチ・プレゼン指導の様子

機械工学科3年 秦 直輝

6月25日のインキュベーションでは、中学生向けに「高専について」というお題で各学生が発表し、評価しあいました。

次に、英語のプレゼンテーションコンテストに出場するにあたり、グループ分けをしました。学年学科が異なるグループもあり今後が楽しみです。

最後に、プレコンのテーマ決めを行うために各グループで案を出しあいました。ホワイトボードを囲んで楽しみながら何個か

の案まで絞ることができました。

これから、みんなで本格的に頑張りたいと思います。



平成27年6月25日呉高専日誌より

インキュベーションワーク 1年生「技術者入門」

電気情報工学分野 井上 浩孝

6月25日(木)、6・7時限目のインキュベーションワークにおける電気情報工学科1年生の技術者入門の様子をご紹介します。

電気情報工学科の技術者入門では、ロボットコンテストを実施しています。今回のロボットコンテストの課題は、「ロボット重量挙げ」です。所定の位置に設定された赤と青の二つのボールを高く挙げることを競う競技です。必ずどちらも持ち上げる必要はなく、どちらか一つを高く挙げてでも良いルールにしています。二つのボールの

高さの合計で高い方を勝者とするトーナメント方式で競技を行います。

今回の授業では、コンテストに出場するためのロボット製作をしました。各学生が意見交換をしながら、課題を克服するためのロボットアーム製作に楽しみながら取り組んでいました。中には、放課後も残ってロボット製作に没頭する学生達もいました。7月9日のロボットコンテストが楽しみです。



平成27年6月25日呉高専日誌より

コマ講義

自然科学系分野 林 和彦



6月25日のインキュベーションワークにおいて、株式会社キャストムの長瀬様を講師としてお招きして、コマ大戦の魅力についてお話していただきました。

課題が残りましたが、良い経験になったのではないのでしょうか。

中小企業の技術者は普段の仕事で表に出ることが少ないですが、コマ大戦では主人公になるので、コマ大戦に真剣に取り組んでいると熱く語っていただきました。講演のあとは、キャストムが3Dプリンターで製作した子供向けのコマキットを用いて、学

生はオリジナルなコマを製作して、ミニコマ大戦を開催しました。優勝は、機械工学科3年生の安井圭祐君でした。

コマ大戦のグループは、次回から金属コマを自主製作します。強いコマを製作できることを期待しています。

平成27年6月25日呉高専日誌より

インキュベーションワーク「プロダクトデザイン演習」壁画完成!

建築学分野 間瀬 実郎・下倉 玲子

シリーズでお伝えしております「インキュベーションワーク「プロダクトデザイン演習」の延崎保育園の壁グラフィティが

ついに完成しました。

20人の学生たちとともに、1回2時間、全3回で描きあげることができました。

プロジェクターで下絵を投影して壁に写したり、使うペンキの色を最小限に抑えたことが短時間で仕上げることができたコツかと思えます。そして何より、学生の手早

さには驚きました。

さすが高専生です!



平成27年6月30日呉高専日誌より

高齢者の夢を、高専生が叶えるモノづくり

学生会広報委員 田北 人士 (電気情報工学科3学年)



「高齢者のための高専生のモノづくり」のインキュベーションワークについての紹介です。前回ははるかぜ訪問に続いて、今回ははるかぜの所長、川口さんの講義を聞きました。

講義の主な内容は、これからの訪問で必ず必要となる高齢者との接し方についてでした。

「高齢者は体が元気な人でもうまく話すことができなったり、体のどこかを痛めたりして普通で生活を送ることが難しい人であったり、いろいろな不自由を抱えられている方がたくさんいます。そのそれぞれに柔軟な対応をするのは難しいと思いますが、まずは高齢者に対して

も優しく接してあげようとしてください。」そして、「リハビリテーションとは自分らしさ(その人らしさ)を取り戻すことである。」と、川口さんは話してくれました。特に、リハビリテーションの話は、「自分たち高専生が、高齢者さんたちの自分らしさを取り戻す手助けをするのだから」という新しい川口さんの話を聞いて、メンバー全員で講義の内容をまとめて感想を述べました。各班で話し合い、まとめると、とても重要なポイントが見つかりました。川口さん、ありがとうございました。

平成27年7月19日呉高専日誌より

インキュベーションワーク全国高等学校ビブリオバトル2015広島県大会でチャンプ本に！ 環境都市工学分野 三村陽一、人文社会系分野 上芝令子

私たちのインキュベーションワークではビブリオバトルを中心に活動しています。ビブリオバトルとは、「本を通して人を知る・人を通して本を知る」をコンセプトにした書評合戦です。各自5分の持ち時間で発表を行った後、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員一票で行い、最多票を集めたものが『チャンプ本』となります。

7月19日(日)に広島修道大学で開催された全国高等学校ビブリオバトル2015広島県大会に、機械工学科3年 宮里 昂成君

が参加しました。

宮里君は、高橋歩さんの「FREEDOM」を紹介し、見事チャンプ本に選定されました！

随所に笑顔が見えたり、アドリブを入れてみたりと、非常に素晴らしい発表でした。

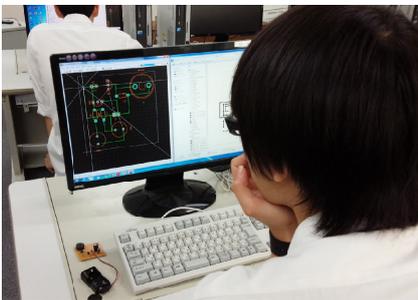
宮里君は、1月10日に東京で開催される決勝大会(全国大会)に、広島県代表として出場します。全国大会でも今回の様に堂々と発表してほしいと思います。



平成27年7月22日呉高専日誌より

電気情報工学科2年 電気情報工学実験

電気情報工学分野 平野 旭



電気情報工学科では1年生後期から「ものづくり実習」で実験やものづくりの基礎を学習し、2年生から本格的に実験が始まります。夏休み前の2年生の実験では、電子回路基板作成の基礎を学習しました。

まず、電子回路シミュレーションソフトである「Tina」を用いて、本に載っている電子回路がどのような動きをするかをシミュレーションします。シミュレーションソフトを用いれば、授業でならっていない電子部品の働きや、その部品を使った回路がどのような動作をするかを学習することができます。本に載っていた回路がどのよ

うな動きをするか分かった後、実際に電子回路基板として「かたち」にするため、基板の配線デザインを考えます。

デザインデータをもとに、学科所有の基板加工機で銅板を削って基板を作成します。基板ができたら電子部品を半田付けて完成です。

作りっぱなしでは実験になりませんので、オシロスコープを使って必要箇所の電圧波形を計測し、レポートにまとめます。初めてづくしで思うようにいかない点もあったと思いますが、実習科目は失敗こそ良い勉強なので、今後活かしていきたいと思います。

平成27年8月9日呉高専日誌より

Science Jam キックオフキャンプに参加してきました

インキュベーションデザイン室 外谷 昭洋

つくば市の高エネルギー加速研究所において、8月7日から9日の2泊3日でGoogleが主催するScience Jamのキックオフキャンプが行われ、研究提案をして採択された機械工学科3年 現田泰生君が参加してきました。

Science Jamは、Googleが主催する日本全国の高校生、高等専門学校生を対象に、自由な発想で科学やテクノロジーの可能性を追求し、世界を変えるアイデアにチャレンジするプロジェクトです。日本科学未来館、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、高エネルギー加速器研究機構(KEK)等の協力の元、3ヶ月間、日本全国から集まった

大学生・大学院生が高校生のメンターとして研究をサポートします。

現田君は新しい発電方法について提案し、3日間の中でメンターの大学院生の方、他チームの高校生、研究者や技術者の方などたくさんの方とディスカッションを行い、研究内容についてブラッシュアップを行いました。期間中、ディスカッションのほかにもワークショップを通して、たくさんの方の仲間から刺激をもらいました。現田君、3ヶ月後の成果を期待しています。

最後になりましたが、素晴らしいキャンプを準備していただきました関係者の皆様、3日間をともに活動していただきました皆様に心から感謝いたします。



平成27年8月21日呉高専日誌より

横路中学校でワークショップを行いました

電気情報工学分野 外谷 昭洋



インキュベーションワークで理科好きの子供を増やす「サイエンスサポートプロジェクト」に取り組んでいる学生を中心に「メカジヨ養成プロジェクト」の学生とコラボして、呉市横路中学校でサイエンスワークショップを行いました。

今回は3年生を対象に、レールを組み合わせて斜面やジャンプ台を作って、ビー玉を教室の端から端まで移動させる装置を作るという企画を行いました。机の間をジャンプで通過させること、最後は床の上に置いてあるカップに入れることなどの制約条件もあり、中学生は序盤には悪戦苦闘する場面も多くみられましたが、徐々にコツをつかんでいき、最後にはカップに入

れるグループも出るなど、楽しく盛り上がりつつある様子がとても印象的でした。授業をサポートする高専生も、初めて行う形式で最初はなれない様子でしたが、最後には中学生をうまくサポートできたと思っています。今回の内容は、2学期の授業の導入にあたるものでしたので、少しでも授業のお役に立てればと思います。

最後になりましたが、直前のお願ひにも関わらず受け入れていただき、本番中もあたたかくも適切なサポートをいただきました横路中学校の先生方、快く応援に駆けつけてくれた本校「メカジヨ養成プロジェクト」の学生の皆さんに心から感謝いたします。

平成27年6月6日呉高専日誌より

しまなみ海道サイクリング&キャンプ2015

ワンダーフォーゲル・スキー部顧問 佐賀野 健

ワンダーフォーゲルスキー部でしまなみ海道サイクリングとキャンプを行いました。6月6日に向島市民センターでレンタサイクルを借りて、大三島の多々羅キャンプ場まで自転車で約40kmを移動。

その後、テントの設営や野外料理体験、釣りなどを行いました。

6月7日はテントなどを撤収し、多々羅

キャンプ場から愛媛県今治市のサンライズ糸山に移動、その後Uターンして尾道方面へ引き返し、向島市民センターまでの約100kmを自転車で移動しました。

自転車が初心者部の部員もいたものの、何とか大きなトラブルなく、日が暮れるまでに尾道まで帰ることができました。



平成27年6月7日呉高専日誌より

ラグビー部高校総体戦績報告 Cブロック 準優勝

ラグビー部顧問 山脇 正雄



高校総体に、福山明王台高校・大門高校と合同チームで参加し、1戦目を勝利、優勝戦では力の差を感じましたが善戦し準優勝となりました。

6月6日1試合目の対戦相手は福山華陽高校などが中心となった合同チームAとの戦い、前半はトライ数では互角に試合でしたが、ゴールキックが決まらず10対14の劣勢で折り返しました。しかし後半はチームの調子が上がってきて一方的なゲーム展開となり、19対0（総合で29対14）で圧勝となりました。本校のメンバーが中心となったバックスの活躍が光りました。この結果、6月7日の二日目優勝戦は尾道B

チームを破って勝ち上がってきた広島県工Bチームとの戦いに、2年生を中心とした実力のあるチームで序盤から劣勢に追い込まれました。

終わってみると0対33と大きく負けてしまいましたが、特に後半はチームのまとまりがでてきて1本のトライを取られただけで守りきることができました。ディフェンスを固め、少ないチャンスで攻め込むことができたのは大きな成果となりました。

これからは11月の高専大会に向け高専チームとしての試合などを行ってゆく予定です。

平成27年6月13日呉高専日誌より

インターアクトクラブ車いす清掃活動

インターアクトクラブ 高杉 栄美里（機械工学科3年）

6月13日土曜日にインターアクトクラブは呉のコスモス園に行って、車いす清掃をしてきました。今回の参加者は10人で、全員が協力して車いす清掃に励みました。

見ず知らずの人のために掃除するというのは決して楽なことではありません。しかし、みんな一生懸命取り組んでくれて、「こうした方がやりやすいよ!」や「めっちゃキレイになった!」などの声が飛びかい、とても温かな雰囲気での活動となりました。また、施設の方が通られる度に「ありがとうございます」と言って頂き達成感にもつながりました。

今回は1人が約3台ずつきれいにし、合計30台ほどの車いすを清掃することが出来ました。しかし、それはこの施設の車いす全体の半分にも満たないのだそうです。

この車いす清掃は呉高専のインターアクトクラブの活動として毎年のように行っています。この活動を通し得られることはたくさんあります!それを取り組んだ人それぞれが感じ取ってもらえる活動でもあります。

来年度はもっと参加人数を増やしてより多くの人に「良かった!」と言ってもらえるような活動になるよう活性化していきたいです。



平成27年6月20日呉高専日誌より

高校最後の県総体 —柔道個人戦—

柔道部



広島県高校総合体育大会柔道競技が広島県立武道館で行われ、本校からは呉地区予選を勝ち抜いた大谷優也君(機械工学科3年)が出場しました。同君にとっては、インターハイにつながる最後の大会であり、この日のために鍛錬してきた成果をよく発揮し、善戦の結果、男子66kg級で5位の成績を収めることが出来ました。

高校の大会はこれで終わりましたが、来月は中国地区高専体育大会が山口県で開催されます。大谷君を始めとする柔道部の健闘を期待しています。

平成27年7月5日呉高専日誌より

女子バスケットボール部、ラスト11秒で逆転勝利！

女子バスケットボール部 青野 芽生（建築学科5年）

7月4日、5日に下松で高専大会がありました。5年生の私にとって最後の高専大会でした。1試合目の相手は宇部高専で、ディフェンスを徹底してやってきました。私達のチームはそのディフェンスに苦戦し、パスミス、キャッチミスを大事な場面でもしてしまい、結局20点以上の差をつけられないまま負けてしまいました。2日目に不出場という事は決定してしまいましたが、気持ちを切り替えて2戦目、大島 商船との試合に挑みました。去年に比べ、かなりレベルが上がっていて最初はリードしていたものの、相手もじわじわ点差を詰めてきてリードしたりされ

たりの試合展開になりました。4クォーター目で私がケガをしてしまい、あとは後輩に託す形になりました。もう無理かと思ったとき、最後の11秒で逆転し1点差で勝つことができました。12年間のバスケット人生でここまで嬉しい勝利はありません。頑張ってくれた7人のチームメイトを誇りに思います。お世話になった、先生、コーチ、本当にありがとうございました。来年はもっと上を目指して頑張りたいと思います。



平成27年7月5日呉高専日誌より

卓球部、中国地区高専体育大会に参加

卓球部 新谷 哲平（電気情報工学科4年）



7月4日、5日の2日間に山口県キリンビレッジ周南総合スポーツセンターで中国地区高専大会体育大会卓球競技の部の試合がありました。4日（土）は個人戦ダブルスと団体戦が、5日（日）は個人戦シングルスが行われ、呉高専からは男女合わせて11名の選手が出場しました。

団体戦では、男子は広島と徳山と宇部、女子は大島と米子と徳山と戦いましたが惜しくも決勝トーナメントに勝ち進むことはできませんでした。ハイレベルな戦いだった個人戦では男子主将 道本真悟が唯一シ

ングルスで3回戦まで進みました。

来年はチームとして勝利できるようにこれからも練習に取り組んでいきたいと思

平成27年7月5日呉高専日誌より

中国地区高専体育大会ソフトテニス競技 なでしこ大活躍！

ソフトテニス部顧問 井上 浩孝

7月4日（土）、5日（日）宇部マテ“フレッセラ”テニスコートにて、中国地区高専体育大会ソフトテニス競技が開催されました。中国地区8高専の男女ソフトテニス部員が出場し、全国大会の出場枠の団体戦2校、男子個人戦ダブルス3ペア、女子個人戦ダブルス2ペア、女子シングルス2名をかけて熱戦がくり広げられました。本校ソフトテニス部は男子、女子が出場し、男子は団体戦4位、個人戦ダブルスは4ペアとも2回戦までで敗退してしまいましたが、女子個人戦ダブルスにて出場した3ペアがなでしこJAPANのように快進撃を続け、1位から3位までを独占し、1位の矢野（明）・矢

野（遥）ペア（3連覇達成！）と2位の野間・山本（桃）ペアが8月26日、27日に宮崎県都城市で開催される全国大会への出場を決めました。また、女子個人戦シングルスにて3名が出場し、昨年のシングルス女子研修大会初代女王の森永が3位に入賞しました。最後になりましたが、連日熱心にご指導くださり、大会では選手達を叱咤激励していただきました外部指導者の木下様、応援に来ていただきました多くの上級生、保護者のみなさまに深く感謝いたします。全国大会では優勝目指して頑張りますので、応援よろしくお願ひします！



平成27年7月7日呉高専日誌より

バドミントン部 中国地区高専体育大会報告

バドミントン部主将 武本 崇裕（環境都市工学科4年）



バドミントン部は7月3、4、5日に中国地区高等専門学校体育大会に参加しました。結果は団体戦3位、ダブルスは廣政、松下組、三島、小坪組、溝手、山口組の3ペアがベスト8に入賞しました。また、シングルスでは5年建築溝手守選手が優勝、4年電気山口啓太選手が準優勝という快挙を成し遂げ、全国大会出場を決めました。両選手とも全国大会に向けてこれまで以上に熱心に練習に取り組んでいきます。去年からの目標である団体優勝という目

標は達成できませんでしたが、どの選手も応援学生の応援やサポートを受け、普段の練習の成果を十分に発揮した素晴らしいプレーを見せてくれました。来年の高専大会は、岡本直樹新キャプテンの下、団体、ダブルスの優勝も目指します。最後になりましたが、応援してくださった先生や学生の皆さん、保護者のみなさん本当にありがとうございました。

平成27年7月7日呉高専日誌より

テニス部 全国高専体育大会 初出場！

テニス部 秦 直輝（機械工学科3年）



7月3～5日に第51回 中国地区高等専門学校体育大会テニス競技がありました。会場はキリンビバレッジ周南市庭球場で、素晴らしいテニスコートでした。

試合初日の4日は待ちに待った団体戦が行われました。初戦は米子高専でした。C4武本啓佑選手が得意とするストロークで粘り強いテニスをし、勝利を手にしました。2回戦は津山高専でした。ここも落ち着いたいつも通りのテニスで勝ちました。

そして、迎えた決勝戦。相手は、前年度全国優勝をした徳山高専でした。接戦の中、シングルス2は相手にとられました。C3牛尾優太・M3生天目真宏ペアがこれまでにない素晴らしいプレーでダブルスを取りま

した。残るは、シングルス1です。保護者の方と呉高専関係者が応援する中、我らの主将、C4三浦佑輝選手が観客全員を魅了するテニスでマッチポイントでも焦ることなく堂々としたプレーで勝利を手にしました。これまで、テニス部は高専大会で優勝したことが一度もなかったのが初の優勝カップを手に入れました。次は、全国大会です。ここで立ち止まらずに、また中国地区の代表として頑張ってきてほしいです。目指せ、全国優勝！

さらに、個人戦ではC4三浦佑輝選手がシングルスで3位、C4武本啓佑・C3脇本諒ペアがダブルスで3位と見事な成績でした。

平成27年7月7日呉高専日誌より

第50回全国高等専門学校体育大会剣道競技に出場決定

剣道部顧問 加納 誠二

7月4日（土）、5日（日）に周南市学び・交流プラザで行われた第51回中国地区高等専門学校体育大会剣道競技に団体戦、個人戦共に男女で出場しました。

男子団体戦では初戦勝利ののち、2戦目に優勝した松江高専と引き分け、このまま行けるかと期待しましたが、3戦目の大島商船高専戦で敗れ、その後、ずるずると負けが先行し、結果7位になってしまいました。女子団体は全国大会には出場できませんでしたが、3位入賞できました。

個人戦では主将の椎井君が男子個人戦で準優勝し、全国大会の出場権を獲得しました。他の皆も頑張りましたが、惜しくも入賞することができませんでした。

ほとんどが3年生までの若いチームで臨んだ本校ですが、若さゆえの弱さが出たのかもしれない。指導教員として反省すべき問題が見えてきました。これから一年また部員たちと切磋琢磨して、来年こそは団体優勝を目指したいと思います。



平成27年7月11日呉高専日誌より

硬式野球部（高野連子一ム）選手権広島大会一回戦のご報告

硬式野球部（高野連子一ム）顧問 外村 彰



第97回全国高等学校野球選手権広島大会一回戦（対宮島工業高校）が、7月11日（土）10時から、呉市二河球場で行なわれました。3年機械科の岡本君、3年環境都市工学科の北君のタイムリが、じわじわと相手チームも重ねて八回表までに3点を加え、結果的に7対4で惜敗した。結果的に150人を超える応援の熱い声援がと。

さて当日はご多用中にもかかわらず、応援に駆けつけてくださった諸先生方、在校生、吹奏楽部の有志、また保護者や卒業生の方々に、あらためて深謝の意を申し述べます。

平成27年8月9日呉高専日誌より

呉地区合同演劇ワークショップに参加しました

演劇部 角 有紗（環境都市工学科3年）

8月8日（土）、9日（日）に高橋丘の演劇ワークショップに参加しました。高橋丘の演劇ワークショップは、高橋丘の演劇ワークショップに参加しました。高橋丘の演劇ワークショップは、高橋丘の演劇ワークショップに参加しました。

高橋丘の演劇ワークショップは、高橋丘の演劇ワークショップに参加しました。高橋丘の演劇ワークショップは、高橋丘の演劇ワークショップに参加しました。



平成27年4月5日呉高専日誌より

平成27年度入学式

総務課庶務室総務係

4月5日(日)に平成27年度入学式が挙行されました。

本科生172名(うち編入学生1名、留学生3名)、専攻科生26名の新生が、新たに呉高専で学ぶこととなりました。新入生代表からは、呉高専に入学した感激を忘れずに、本校学生としての誇りを持って、勉学に励み、人格の高揚に努めたいとの宣誓がありました。

校長式辞では、「何でもいい。好きなことに夢中になり、懸命に取り組み、己を磨

け」というお言葉をいただきました。

また、今年は吹奏楽部演奏のもと、コーラスグループ及び教職員による校歌斉唱が行われました。

新入生のみさんの夢の実現に向け、教職員一同、精一杯の支援をお約束いたします。

Realize Your Dream



平成27年4月5日呉高専日誌より

寮生活第1日目始まる

寮務主事 木原 滋哉



入寮式、新入寮生歓迎夕食会とともに、新入寮生の寮生活第1日目が始まりました。入学式が終わったばかりの4月5日午後、まだまだ緊張している新入寮生が一堂に会して、保護者が見守る中で、入寮式が行われました。森野校長、藤平寮生保護者連絡会代表からは、親元からはじめて離れて生活するのはたいへんだが、しっかり自立した生活ができるように、と激励の挨拶を受けました。新入寮生代表の建築学科1年の浅賀恭平君が入寮にあたっての決意が表明されました。そのあと、自分たちの部屋に荷物を運びこみ、先輩に連れられて、寮内を見学したり、説明を受けたりしました。

夕方、保護者が帰宅された後、新入寮生歓迎夕食会が開かれました。新入寮生は、大きな拍手で迎えられて、寮食堂に入場し、食事をしたものの、だいぶ緊張しながらの食事になったようです。

夜、風呂上がりの新入寮生に声をかけたところ、わからないことは他の人に尋ねると、どうにかなりましたという回答でした。こうして寮生活第1日目はどうにか無事終わったようです。

平成27年4月11日呉高専日誌より

1学年遠足(灰が峰登山)

1年学年主任 三村 陽一

4月11日(土)に、新入生オリエンテーションの一環として、遠足(灰が峰登山)を行いました。

前日は雨天でしたが、何とか天候は回復し、無事登山を実施できました。

前日の雨により、かなり足元は悪かったのですが、みごと全員が登頂を果たしました!

決して楽な登山ではなかったと思いますが、みんな良く頑張っていたと思います。

高専生活を送っていく中で、つらいことや困難なことに直面することもあります。しかし、今回の登山の様に頑張って

いれば何とかなることもあると思いますし、自分一人では解決できなくてもクラスメイトや先生の協力や励ましがあれば何とかなることも多いと思います。

充実した高専生活を送れることを心から願っています。

最後になりましたが、ご協力いただいた関係各位に心より御礼申し上げます。



平成27年4月17日呉高専日誌より

今年もイングリッシュラウンジが始まりました!

建築学科3年 宮本 皓章



平成27年4月16日(木) co-baにて第1回イングリッシュラウンジを開催しました。放課後16:10より学生が集まり始め、1年生から5年生までがネイティブのネビア先生を囲んで楽しいひと時を過ごしました。また、後半は、建築学科に新任で来られた安先生も来てくださり、英語で話してくださいました。

カードを使って英語を話すゲームをしたり、自己紹介をしたり、久しぶりの英語活動だったため緊張しましたが、新1年生も積極的に参加をしてくれ「英語を頑張るぞ

〜」とみんなの意気込みが感じられる2時間でした。

だれでも参加できるカジュアルな会です。今回参加できなかった学生の皆さん、ぜひこの次は一緒に英語を話しましょう!

5-6月

平成27年5月28日呉高専日誌より

平成27年度第1回ブックハンティング

渡邊 優樹 (環境都市工学科4年)



ブックハンティングとは学生が自分達で読みたい本、必要な本を選んでもらう行事で、年に2回行われます。その第1回目のブックハンティングが5月28日(木)に開催されました。
場所はジュンク堂書店広島駅前店でした。とても広くゆったりとした中で本を選ぶことができました。今回は4年・5年・専攻科の人たちに参加して頂きました。ありがとうございました。
上級生になると今回が初めてではない人も多くスムーズに本を選ぶことができました。本がたくさん置いてあるので専門書の数も多く、自分のためになる本、また図書館に置いてあればみんなのためになるだろ

うと専門書を選ぶ人が多かったです。またじっくりと選ぶ時間があったため、選びたい本がたくさん出てくるので、予算の中でおさめるのが大変でした。
次回は1年・2年・3年生の参加になります。テスト後に行われるので疲れがたまっている中の参加になりますが、普段買えない本やいろいろな本を見るいい機会になるので是非参加をお願いします。
また今回、ブックハンティングに必要な経費は後援会から支援して頂いています。ありがとうございました。

平成27年6月14日呉高専日誌より

呉活性化プロジェクトに参加 ーロボコン、ねこかぶりー

建築学分野 間瀬 実郎・機械工学分野 野村 高広

6月14日に呉れんが通りで開かれたイベント、呉活性化プロジェクトー呉から盛り上げ隊ーものづくり体験学校に呉高専から、ロボット製作クラブのロボットと建築学科のねこかぶりが参加しました。

当日は多くのお客さんが訪れ、ペーパークラフト、オリジナル時計等の工作教室が開かれました。

ロボットは終始子供たちに囲まれて

操縦を体験する子もいました。

ねこかぶりも盛況でした。



平成27年6月20日呉高専日誌より

保護者懇談会 I

教務主事補 山岡 俊一



6月20日(土)、1回目の保護者懇談会を開催いたしました。クラス別の懇談会、全体懇談会、寮生保護者懇談会に加え、後援会総会・役員会も開催しました。

全体懇談会では、森野校長による挨拶と学校教育全体についての説明の後、篠部教務主事が教務関係について、西坂学生主事が学生指導や学生生活について、木原寮務主事が寮生活について説明しました。

学生が社会で通用する技術者に育つよう、

これからも保護者の皆様と連携し、よりよい教育に努めていきたいと思ひます。



平成27年6月22日呉高専日誌より

呉高専創立50周年記念植樹式 同窓会より本校へ桜の贈呈

呉高専同窓会

快晴の3月11日、呉高専同窓会は本校創立50周年記念事業の一環として、二本の桜樹を母校に贈呈しました。昨年12月に寄贈したマイクロバスに継ぐ同窓会の記念事業になります。

この桜樹は本校正門の東側に植えられ、登下校する学生たちを見守ると同時に、未永く母校の進展を見続けることになります。

同窓会として母校の益々の躍進を期待してやみません。



5-6月

平成27年5月13日呉高専日誌より

呉南特別支援学校の校章デザインと開校式

建築学分野 間瀬 実郎



今年4月に開校した呉南特別支援学校の校章のデザインを引き受けました。同校校長先生からの図案のリクエストは、阿賀から見える三山（休山、灰が峰、大空山）をモチーフとした前身の呉ろう学校校章の一部を取り入れ、児童生徒、保護者、教職員の方々が新しい学校をイメージしたデザインを監修してほしいというものでした。緑の三山に阿賀港の海を青で表現し、二人の人型は同校の「聴覚障害部門」と「知的障害部門」の幼児・児童・生徒さんが助け合っている姿を表現しました。ハート型の色は呉市の花、椿の色です。図形の中に九つの「レ」を配置し「くれ」

を表し、三つの波で「みなみ」を表しました。4月8日の開校式には本校校長とともに招待され、支援学校の児童生徒さんから花束を頂きました。先生方が全員手話で校歌を歌われる姿は感動的でした。近くにありながら、なかなか訪問することのできないこの学校は、先生方と生徒さんとの絆を感じる学校でした。

平成27年5月18日呉高専日誌より

呉市議会議員が視察のため来校されました

総務課庶務室総務係

5月18日に呉市議会の中原明夫議員（本校0B）と井手畑隆政治議員が視察のため呉高専を来校されました。校長室にて懇談の後、校長及び担当教員の案内で協働研究センター、機械工学科棟、co-ba呉高専（学生課ロビー）、建築学科棟の施設見学を行い、3Dプリンターやレーザー加工機ならびにインキュベーションワークに興味を持っていただき、機械の仕組みや活

用方法、インキュベート型教育などについて担当教員へ熱心にご質問いただきました。本校の技術力を知っていただき、呉市との連携が深まる良いきっかけになったかと思えます。ご来校ありがとうございました。



平成27年6月24日呉高専日誌より

楠田特命教授平成27年度全国発明表彰・発明奨励功績賞受賞

協働研究センター



本校の楠田和身先生が、公益社団法人発明協会より平成27年度全国発明表彰・発明奨励功績賞を受賞されました。この表彰制度は大正8年の帝国発明表彰に始まり現在に至る、歴史ある表彰です。発明協会広島県支部専務理事として昭和57年に県内初（全国25番目）の少年少女発明クラブの設置を皮切りに、4つのクラブを開設し（現在全国約250か所）、その運営に積極的に取り組むとともに、平成17年には化学分野における創造性の啓発を目的に全国唯一の「わくわくケミカルクラブ」を開設し、活動の充実に努めるなど、青少年の

創造性開発育成に寄与されました。また、特許庁や中国経済産業局主催の知的財産権に係る説明会・セミナー等を全国のモデルケースとして企画・実践し、知的財産権制度の普及、啓発に貢献されたことが今回の栄えある受賞に至った経緯です。先生は発明協会ご退職後、本校協働研究センター特命教授として知財教育の推進と、地域連携による地域青少年の科学教育醸成に傾注されています。先生の益々のご活躍を期待しております。

平成27年6月29日呉高専日誌より

機械工学科5年生 田中真実さん 簿記検定1級合格 最優秀者表彰

機械工学分野 尾川 茂、野村 高広

合格率8.8%という難関検定であるにもかかわらず、受験者9931人中、全国1位のトップ成績で合格し、日本商工会議所より最優秀者の表彰状を授与されました。19歳での表彰は、記録が残る中で史上最年少受賞との報にも驚きです。もちろん現役高専生の受賞としても初めてのこととなります。田中さんはこれまで、ロボット製作クラブの部長や地区大会の選手を経験するとともに、シアトル総領事館での英語プレゼンや大連大学との国際交流などでも活躍して

くれました。こうした経験をベースに、中学生から挑戦してきた簿記検定試験において、この度1級合格をトップ成績で獲得し、呉高専という教育環境で自らを着実にステップアップしてくれ、大変喜ばしく思います。田中さんに続き、自らインキュベーションする学生が今後も増えてくることを期待しています。



平成27年7月2日呉高専日誌より

呉東ロータリークラブから本校野球部への支援物品をいただきました

総務課庶務室総務係

7月2日(木)、呉東ロータリークラブから野球部への支援物品(公式球及びスポーツ飲料)をいただきました。

呉東ロータリークラブには、日頃からインターアクトクラブの活動への支援や大連大学との交流等、本校の学校運営に多大なご支援をいただいています。

さらにこの度は野球部への支援物品をいただき厚く御礼申し上げます。

今後とも、呉工業高等専門学校の発展のため、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成27年7月7日呉高専日誌より

平成27年度安全標語受賞者の表彰式を行いました

総務課庶務室人事係



平成27年7月8日(水)、平成27年度安全標語受賞者の表彰式を校長室で執り行いました。安全標語は、安全衛生に対する意識向上を図ることを目的として、安全衛生委員会が毎年4年生の学生を対象に募集しているものです。

今年度は、183件の応募があり、安全衛生委員会委員及び後援会役員の投票により選考した結果、得票1位の学生を表彰しました。

表彰式では、吉田安全衛生委員会委員長、篠部教務主事、中迫教授、横沼准教授、当田後援会会長の立会いの下、森野校長から得票1位の学生に対して賞状が贈られ、当

田後援会会長から副賞が贈呈されました。

受賞者

【1位】(平成27年度 安全標語)
思い込み 無理な作業に ある危険
電気情報工学科 4年生 東 諒汰さん

【2位】
作業中 よそ見するのは ダメよだめ
機械工学科 4年生 木村祐也さん

【3位】
無くしましょう 小さな過信 大きな危険
電気情報工学科 4年生 浜崎混平さん

平成27年7月29日呉高専日誌より

呉東ロータリークラブから寄付金をいただきました

総務課庶務室総務係

7月29日(水)、呉東ロータリークラブから大連大学第四回留学生派遣の渡航金として寄付金をいただきました。

呉東ロータリークラブには、日頃からインターアクトクラブの活動への支援に加えて、大連大学との交流をはじめ本校の国際交流活動に、多大なご支援をいただいています。さらにこの度は寄付の申し入れをしてくださいます厚く御礼申し上げます。

寄付金につきましては、その趣旨に則り

有効に活用させていただきます。

今後とも、呉工業高等専門学校の発展のため、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成27年8月19日呉高専日誌より

実習工場技能講習会 (その1)

技術センター 大東 由喜夫



実習工場では、8月18日から21日まで4日間の日程で技能講習会を行っています。

この講習会は、機械の操作指導をまだ受けていないために、実習工場の機械を使っている、ものづくりが出来ない学生が、実習工場を積極的に活用してもらうことを目的としての実施です。受講生は、全学科から21名が参加しています。

19日は、前日の旋盤基本講習で学んだ技術を生かして、コマの製作です。コマの条件は、直径20mm以内で材料は真鍮です。

学生が、それぞれ自分で考えてきた設計図を基に、加工していきました。

製作後は、コマ回し大会です。直径10mmの小さな物や高さの低い物など、さまざまな工夫を凝らしたコマがありました。

優勝は、機械工学科1年生の加藤卓也君でした。良く回るコマも多く接戦となり、大変盛り上がった大会となりました。自分の作ったコマに、みんな満足した様子でした。

クラブ活動・各種大会報告

第50回全国高等専門学校体育大会 (平成27年8月14日～8月30日)

(団体)

種目	順位
テニス	初戦敗退

(個人)

種目・順位	所属・氏名
陸上競技 走高跳 6位	M5 中村 和真
剣道(男子) 2回戦敗退	C3 椎井 努

(個人)

種目・順位	所属・氏名
バドミントン(男子) シングル2回戦敗退 2回戦敗退	A5 溝手 守 E4 山口 啓太
ソフトテニス(女子) ダブルス 優勝 初戦敗退	A4 矢野明日香 A4 矢野 遥香 A3 野間 萌 C2 山本 桃加

第24回西日本地区高等専門学校 アーチエリー競技会 (平成27年8月20日～8月21日)

(団体)

種目	順位
団体(男子)	準優勝

(個人)

種目・順位	所属・氏名
個人(男子) 30m・50m 3位	M4 守本 一心
30m・ダブル優勝	M1 河西 哲平
個人(女子) 30m・50m 3位	M2 葉名 弥生

第21回西日本地区高等専門学校 空手道大会 (平成27年7月11日～7月12日)

(団体)

種目	順位
団体形	2位
団体組手	3位
総合	3位

(個人)

種目・順位	所属・氏名
女子個人形 3位	A1 山藤 渚

第97回全国高等学校野球選手権広島大会 (平成27年7月11日)

初戦敗退 呉高専 4-7 宮島工業

第50回中国地区高等専門学校体育大会 (平成27年7月4日～7月6日)

(団体)

種目	順位
陸上競技	5位
バレーボール(女子)	3位
テニス	優勝
剣道(男子)	7位
剣道(女子)	3位
サッカー	2位(B)
バドミントン(男子)	3位
バドミントン(女子)	3位
水泳	6位

(個人)

種目・順位	所属・氏名
陸上競技	
100m 4位	E5 古田 優希
200m 5位	E5 古田 優希
1500m 4位 5位	E5 村本 瞭真 C3 奈古 淳平
5000m 5位	M3 小川 黎真
走高跳 1位	M5 中村 和真
走幅跳 4位	C4 小川 大貴
三段跳 5位	C4 小川 大貴

(個人)

種目・順位	所属・氏名
砲丸投 3位	C5 山中 勇人
円盤投 2位 4位	C5 山中 勇人 E4 栗栖 裕紀
剣道(男子) 2位	C3 椎井 努
バドミントン(男子) シングル1位 2位	A5 溝手 守 E4 山口 啓太
ソフトテニス(女子) ダブルス1位 2位	A4 矢野明日香 A4 矢野 遥香 A3 野間 萌 C2 山本 桃加

団体種目のない陸上競技、水泳競技については、総合順位とする。

Realize your Dream

君の未来を共に創る

呉高専ではホームページで
球技大会、高専体育大会、駅伝大会、ロボコン大会等、
校内外の行事や授業風景、寮の様子、クラブ活動など日々の学生生活を
「呉高専日誌」で紹介しています。



呉高専

検索

呉高専ホームページ

<http://www.kure-nct.ac.jp/>



交通案内

▶▶交通機関をご利用の場合

- JR呉線安芸阿賀駅下車 徒歩約7分
- 広島電鉄バス「先小倉」「阿賀駅前」下車、徒歩約10分

▶▶お車でお越しの場合

- 【広島方面から】広島呉道路(クリアライン)呉ICより20分
- 【東広島方面から】東広島呉道路、先小倉交差点より5分
- 【竹原方面から】国道185号、先小倉交差点より5分

呉高専だより 72号

2015年9月

編集・発行 呉工業高等専門学校 広報室

〒737-8506 呉市 阿賀南2丁目2-11

TEL:0823-73-8964 Mail:kouhou@kure-nct.ac.jp